

## 特別顧問・羽山定克氏 特別インタビュー



「真に豊かな暮らしは、住み継がれる家があつてこそ」という信念のもと、  
住宅の寒さ対策はどのように? 一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—スウェーデンハウス創業の地・北海道のご出身ですか。  
子どもの頃の話ですが、初雪が11月。どこからともなく白い小さな虫がたくさん飛んできます。この雪虫と漬物を漬ける母、それと窓に目張りをする父が冬支度風景の3点セットでした。

—スウェーデンハウス創立25年前、北海道の住宅の寒さ対策はどのように?  
一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—関東でもその性能を下げることはしませんでした。  
年間を通じて冷暖房を必要とする日数は、北海道が194日、東京が189日、大阪が200日、福岡が189日です。寒さに強い家なら暑さにも強いだろう、って暑さに辟易していました。私もその一人でしたが、涼しく過ごせる家はないものかと身にしみていましたから。

## お客様の生活の基盤づくりに立ち会う、 この責任の重さを「やりがい」という。



豊平会場に大屋根のモデルハウスを出しました。二階のファミリールームなどは今までこそ当たり前になりましたが、24年前は斬新でした。階段から間仕切りなしで、という、北海道では寒くて考えられないプランでしたが、これが寒くない。『住宅の性能』といふ言葉が誕生しました。

—他社からオーバースペックと悪口を言われたそうですが、関東では、シングルガラス・アルミサッシ窓しかない時代に、ガラス3枚の木製サッシですから格好の攻撃材料になりました。私たちなりに必要性を説いたところ、

理解してくださる方がいらっしゃいました。その方々こそ先見の明があった、というべきです。

—住まわれた方の感想はいかがでしたか?

それが大変好評で、私たちも自信を持てるようになりました。異口同音に「期待以上の快適さに満足している」とおっしゃっていたお届けしている」と実感しました。

—心強いお客様ですね。

今もそうですが、スウェーデンハウスに決めかねているお客様をお一人一宅によくお連れしました。そこで随分助けていただきています。ホームコンサルタントの百語より実際お住まいになつ

ていった。その前の年に全棟気密測定

を聞いてセールストークにさせていただいた。オーナーの皆様に社員教育までしていただける企業はなかなかないですよ(笑)。

—ヒュースドクトル50で対象を1棟目からに選ったのは感謝の気持ちもあったのですね。

スウェーデンハウスをここまで育てていただいたオーナーは皆様同じです。幸い性能は同じで差はありません。それと、家に不具合があれば早く解決する方がよい。24時間使い続けるものでしょ、将来もずっと住み続けるものですから、我慢したり不満を持たれたりしたままでは申し訳ない。

—それが、ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリックにつながる。

ヒュースドクトル50の実績と合わせてご評価いただきました。

イン・エレクトリックということは設備はオール電化にしましたが、皆様がお住まいのスウェーデンハウスというベースがあつて受賞しました。実績といえば、50年

重ねられたことへの評価です。

「25年前に高性能住宅を理解してくださった方々こそ先見の明があつた、というべきです。」

理解してくださる方がいらっしゃいました。その方々こそ先見の明があつた、というべきです。

—住まわれた方の感想はいかがでしたか?

それが大変好評で、私たちも自信を持てるようになりました。異口同音に「期待以上の快適さに満足している」とおっしゃっていたお届けしている」と実感しました。

—心強いお客様ですね。

今もそうですが、スウェーデンハウスに決めかねているお客様をお一人一宅によくお連れしました。そこで随分助けていただきています。ホームコンサルタントの百語より実際お住まいになつ

ていった。その前の年に全棟気密測定

を聞いてセールストークにさせていただいた。オーナーの皆様に社員教育までしていただける企業はなかなかないですよ(笑)。

—ヒュースドクトル50で対象を1棟目からに選ったのは感謝の気持ちもあったのですね。

スウェーデンハウスをここまで育てていただいたオーナーは皆様同じです。幸い性能は同じで差はありません。それと、家に不具合があれば早く解決する方がよい。24時間使い続けるものでしょ、将来もずっと住み続けるものですから、我慢したり不満を持たれたりしたままでは申し訳ない。

—それが、ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリックにつながる。

ヒュースドクトル50の実績と合わせてご評価いただきました。

イン・エレクトリックということは設備はオール電化にしましたが、皆様がお住まいのスウェーデンハウスというベースがあつて受賞しました。実績といえば、50年

重ねられたことへの評価です。



—斯ウェーデンハウス創業の地・北海道のご出身ですか。  
子どもの頃の話ですが、初雪が11月。どこからともなく白い小さな虫がたくさん飛んできます。この雪虫と漬物を漬ける母、それと窓に目張りをする父が冬支度風景の3点セットでした。

—スウェーデンハウス創立25年前、北海道の住宅の寒さ対策はどのように?  
一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—ここにスウェーデンハウスが誕生した。

豊平会場に大屋根のモデルハウスを出しました。二階のファミリールームなどは今までこそ当たり前になりましたが、24年前は斬新でした。階段から間仕切りなしで、という、北海道では寒くて考えられないプランでしたが、これが寒くない。『住宅の性能』といふ言葉が誕生しました。

—他社からオーバースペックと悪口を言われたそうですが、関東では、シングルガラス・アルミサッシ窓しかない時代に、ガラス3枚の木製サッシですから格好の攻撃材料になりました。私たちなりに必要性を説いたところ、

—関東でもその性能を下げるることはしませんでした。  
年間を通じて冷暖房を必要とする日数は、北海道が194日、東京が189日、大阪が200日、福岡が189日です。寒さに強い家なら暑さにも強いだろう、って暑さに辟易していました。私もその一人でしたが、涼しく過ごせる家はないものかと身にしみっていましたから。

う概念が希薄な時代に、業界やお客様に与えたインパクトは、大きかったです。おかげで我々は自信を得て、その後、全国展開に踏み切りました。

—スウェーデンハウス創業の地・北海道のご出身ですか。  
子どもの頃の話ですが、初雪が11月。どこからともなく白い小さな虫がたくさん飛んできます。この雪虫と漬物を漬ける母、それと窓に目張りをする父が冬支度風景の3点セットでした。

—スウェーデンハウス創立25年前、北海道の住宅の寒さ対策はどのように?  
一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—ここにスウェーデンハウスが誕生した。

豊平会場に大屋根のモデルハウスを出しました。二階のファミリールームなどは今までこそ当たり前になりましたが、24年前は斬新でした。階段から間仕切りなしで、という、北海道では寒くて考えられないプランでしたが、これが寒くない。『住宅の性能』といふ言葉が誕生しました。

—他社からオーバースペックと悪口を言われたそうですが、関東では、シングルガラス・アルミサッシ窓しかない時代に、ガラス3枚の木製サッシですから格好の攻撃材料になりました。私たちなりに必要性を説いたところ、

—関東でもその性能を下げるることはしませんでした。  
年間を通じて冷暖房を必要とする日数は、北海道が194日、東京が189日、大阪が200日、福岡が189日です。寒さに強い家なら暑さにも強いだろう、って暑さに辟易していました。私もその一人でしたが、涼しく過ごせる家はないものかと身にしみていましたから。

う概念が希薄な時代に、業界やお客様に与えたインパクトは、大きかったです。おかげで我々は自信を得て、その後、全国展開に踏み切りました。

—スウェーデンハウス創業の地・北海道のご出身ですか。  
子どもの頃の話ですが、初雪が11月。どこからともなく白い小さな虫がたくさん飛んできます。この雪虫と漬物を漬ける母、それと窓に目張りをする父が冬支度風景の3点セットでした。

—スウェーデンハウス創立25年前、北海道の住宅の寒さ対策はどのように?  
一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—ここにスウェーデンハウスが誕生した。

豊平会場に大屋根のモデルハウスを出しました。二階のファミリールームなどは今までこそ当たり前になりましたが、24年前は斬新でした。階段から間仕切りなしで、という、北海道では寒くて考えられないプランでしたが、これが寒くない。『住宅の性能』といふ言葉が誕生しました。

—他社からオーバースペックと悪口を言われたそうですが、関東では、シングルガラス・アルミサッシ窓しかない時代に、ガラス3枚の木製サッシですから格好の攻撃材料になりました。私たちなりに必要性を説いたところ、

—関東でもその性能を下げるることはしませんでした。  
年間を通じて冷暖房を必要とする日数は、北海道が194日、東京が189日、大阪が200日、福岡が189日です。寒さに強い家なら暑さにも強いだろう、って暑さに辟易していました。私もその一人でしたが、涼しく過ごせる家はないものかと身にしみていましたから。

う概念が希薄な時代に、業界やお客様に与えたインパクトは、大きかったです。おかげで我々は自信を得て、その後、全国展開に踏み切りました。

—スウェーデンハウス創業の地・北海道のご出身ですか。  
子どもの頃の話ですが、初雪が11月。どこからともなく白い小さな虫がたくさん飛んできます。この雪虫と漬物を漬ける母、それと窓に目張りをする父が冬支度風景の3点セットでした。

—スウェーデンハウス創立25年前、北海道の住宅の寒さ対策はどのように?  
一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—ここにスウェーデンハウスが誕生した。

豊平会場に大屋根のモデルハウスを出しました。二階のファミリールームなどは今までこそ当たり前になりましたが、24年前は斬新でした。階段から間仕切りなしで、という、北海道では寒くて考えられないプランでしたが、これが寒くない。『住宅の性能』といふ言葉が誕生しました。

—他社からオーバースペックと悪口を言われたそうですが、関東では、シングルガラス・アルミサッシ窓しかない時代に、ガラス3枚の木製サッシですから格好の攻撃材料になりました。私たちなりに必要性を説いたところ、

—関東でもその性能を下げるることはしませんでした。  
年間を通じて冷暖房を必要とする日数は、北海道が194日、東京が189日、大阪が200日、福岡が189日です。寒さに強い家なら暑さにも強いだろう、って暑さに辟易していました。私もその一人でしたが、涼しく過ごせる家はないものかと身にしみていましたから。

う概念が希薄な時代に、業界やお客様に与えたインパクトは、大きかったです。おかげで我々は自信を得て、その後、全国展開に踏み切りました。

—スウェーデンハウス創業の地・北海道のご出身ですか。  
子どもの頃の話ですが、初雪が11月。どこからともなく白い小さな虫がたくさん飛んできます。この雪虫と漬物を漬ける母、それと窓に目張りをする父が冬支度風景の3点セットでした。

—スウェーデンハウス創立25年前、北海道の住宅の寒さ対策はどのように?  
一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—ここにスウェーデンハウスが誕生した。

豊平会場に大屋根のモデルハウスを出しました。二階のファミリールームなどは今までこそ当たり前になりましたが、24年前は斬新でした。階段から間仕切りなしで、という、北海道では寒くて考えられないプランでしたが、これが寒くない。『住宅の性能』といふ言葉が誕生しました。

—他社からオーバースペックと悪口を言われたそうですが、関東では、シングルガラス・アルミサッシ窓しかない時代に、ガラス3枚の木製サッシですから格好の攻撃材料になりました。私たちなりに必要性を説いたところ、

—関東でもその性能を下げるることはしませんでした。  
年間を通じて冷暖房を必要とする日数は、北海道が194日、東京が189日、大阪が200日、福岡が189日です。寒さに強い家なら暑さにも強いだろう、って暑さに辟易していました。私もその一人でしたが、涼しく過ごせる家はないものかと身にしみていましたから。

う概念が希薄な時代に、業界やお客様に与えたインパクトは、大きかったです。おかげで我々は自信を得て、その後、全国展開に踏み切りました。

—スウェーデンハウス創業の地・北海道のご出身ですか。  
子どもの頃の話ですが、初雪が11月。どこからともなく白い小さな虫がたくさん飛んできます。この雪虫と漬物を漬ける母、それと窓に目張りをする父が冬支度風景の3点セットでした。

—スウェーデンハウス創立25年前、北海道の住宅の寒さ対策はどのように?  
一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—ここにスウェーデンハウスが誕生した。

豊平会場に大屋根のモデルハウスを出しました。二階のファミリールームなどは今までこそ当たり前になりましたが、24年前は斬新でした。階段から間仕切りなしで、という、北海道では寒くて考えられないプランでしたが、これが寒くない。『住宅の性能』といふ言葉が誕生しました。

—他社からオーバースペックと悪口を言われたそうですが、関東では、シングルガラス・アルミサッシ窓しかない時代に、ガラス3枚の木製サッシですから格好の攻撃材料になりました。私たちなりに必要性を説いたところ、

—関東でもその性能を下げるることはしませんでした。  
年間を通じて冷暖房を必要とする日数は、北海道が194日、東京が189日、大阪が200日、福岡が189日です。寒さに強い家なら暑さにも強いだろう、って暑さに辟易していました。私もその一人でしたが、涼しく過ごせる家はないものかと身にしみていましたから。

う概念が希薄な時代に、業界やお客様に与えたインパクトは、大きかったです。おかげで我々は自信を得て、その後、全国展開に踏み切りました。

—スウェーデンハウス創業の地・北海道のご出身ですか。  
子どもの頃の話ですが、初雪が11月。どこからともなく白い小さな虫がたくさん飛んできます。この雪虫と漬物を漬ける母、それと窓に目張りをする父が冬支度風景の3点セットでした。

—スウェーデンハウス創立25年前、北海道の住宅の寒さ対策はどのように?  
一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—ここにスウェーデンハウスが誕生した。

豊平会場に大屋根のモデルハウスを出しました。二階のファミリールームなどは今までこそ当たり前になりましたが、24年前は斬新でした。階段から間仕切りなしで、という、北海道では寒くて考えられないプランでしたが、これが寒くない。『住宅の性能』といふ言葉が誕生しました。

—他社からオーバースペックと悪口を言われたそうですが、関東では、シングルガラス・アルミサッシ窓しかない時代に、ガラス3枚の木製サッシですから格好の攻撃材料になりました。私たちなりに必要性を説いたところ、

—関東でもその性能を下げるることはしませんでした。  
年間を通じて冷暖房を必要とする日数は、北海道が194日、東京が189日、大阪が200日、福岡が189日です。寒さに強い家なら暑さにも強いだろう、って暑さに辟易していました。私もその一人でしたが、涼しく過ごせる家はないものかと身にしみていましたから。

う概念が希薄な時代に、業界やお客様に与えたインパクトは、大きかったです。おかげで我々は自信を得て、その後、全国展開に踏み切りました。

—スウェーデンハウス創業の地・北海道のご出身ですか。  
子どもの頃の話ですが、初雪が11月。どこからともなく白い小さな虫がたくさん飛んできます。この雪虫と漬物を漬ける母、それと窓に目張りをする父が冬支度風景の3点セットでした。

—スウェーデンハウス創立25年前、北海道の住宅の寒さ対策はどのように?  
一般的の住宅は断熱化が不十分なのは当たり前で、ストーブをガス燃焼で、厳寒期は夜中も消さずにいる状態でした。

—ここにスウェーデンハウスが誕生した。